

今年の抱負は「自立から自律へ」

開倫塾

塾長 林 明夫

1. 新年あけましておめでとうございます。開倫塾塾長の林明夫です。新年早々に CRT 栃木放送の「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。今年も「勉強の仕方」を中心にいろいろなお話をさせていただきたいと思いますので、よろしくお祈りします。
2. 今日は年明け1回目の放送ですので、「この1年間、どのように勉強をしたらよいか・過ごしたらよいか」についてお話をさせていただきます。
私の今年のテーマは、「自立から自律へ」です。皆様はこの言葉を耳で聴いていますので、意味がわかりづらいと思います。そこで、「自立から自律へ」の意味を少し説明いたします。
3. 初めの「自立」は、自分の力で立つという意味です。これは一番大事なことです。例えば勉強も、自立学習といいますか、自分できちんと立って行うことが大切です。ただ、それだけでは不十分で、自分を律しながら勉強することも大切です。これは勉強だけでなく、生活したり仕事をしたりするときにも当てはまります。それが後ろの「自律」の意味、つまり自分で自分自身を律するということです。
4. 繰り返しになりますが、「自立」は本当に大切です。これは具体的にどういうことかと言うと、学校生活においては、朝は自分で起きて顔を洗い、朝食を取って歯をみがき、トイレも済ませてから登校する・登校中は遅刻をしないように、事故に遭わないように気をつける・授業中は先生のお話をよく聴く・現在はアクティブラーニングが推進されているので、積極的に授業に参加する・放課後は部活動などを楽しく行う・事故を起こさないようにして帰宅することなどです。
また、「早寝早起き朝ごはん」のスローガンのように、誰に言われなくても夜は決まった時間に床に就くのも「自立」の一つです。
5. 仕事も同様です。人にあれこれ言われてからするのではなく、自分の仕事は自分で立ち上がって行うのが「自立」です。これは、最初はなかなか大変でしょうが、仕事の仕方をだんだん覚えて自分の力でできるようにすることです。
6. ただ、世の中はそれだけでは済みません。難しい課題などが出てきたときに、それをどのように考えるかが重要です。例えば勉強では、この勉強にはどのような価値があり、その価値は自分

にとってどんな意味があるのかを考えて意味付けをする・その上で、これはしたほうがよいのかしないほうがよいのかを考える・したほうがよいことには積極的に取り組み、しないほうがよいことは自分で自分を律して行わないなどです。これが自分を律する「自律」で、「自立」と同じようにとても大事です。

7. 「自律」は、仕事をする際にも求められます。「自立」は、人から言われなくても自分で立派に仕事をする・自分で完全に仕事ができる能力を身に着ける・遅刻をしないで職場に行く・健康を保つ・いろいろな人たちと一緒に仕事することなどです。

8. 仕事にだんだん慣れてきて複雑なものをするようになると、前述のことに加えて、上司や部下を含めた同僚と協力して仕事をする必要があります。それには何が大事かと言うと、他の人のよさを認めることです。あの人はここが素晴らしい・あの人はこんな強みや潜在能力を持っているなどと、他の人のよさ・強味・潜在能力などを認めた上で伸ばし、自分のそれと組み合わせで立派にやっていくことは相当なことです。

9. これは、自分一人でやっていく「自立」ではなく、自分を律しながら行うという「自律」です。職場ではチームプレーで仕事をするのが基本ですから、「あなたはどうしようもないやつだ」などと罵詈雑言を言ったり恫喝したりしていたのでは成り立ちません。

10. そこで、自制心を持ち、自分を律しながら「あの人にはこんな強みがあるので伸ばしてあげよう」「この人はこんな弱みがあるので補ってあげよう」と思って実行することが大事です。具体的には仕事の手順を教えることです。仕事ができない人はやろうと思っても急にはできるようになりませんので、その手順を示すことが不可欠です。手順を示すのは、能力を高めるための一方法です。

11. つまり、仕事のできない人には「どうしようもないやつだ」などと罵倒せず、「このようにするとうまくいくよ」と親切に教えていただきたいと思います。できればその手前で、その人のよさ・強み・潜在能力などを認めて伸ばしつつ、不足するところはみんなで補ってあげると、楽しい職場になるでしょう。

ただ、楽しくても結果が全く出ないというのでは困りますが、前述のことを行うと成果が上がる素晴らしい職場になると思います。

12. 年初の今日の放送では、「じりつ」には自分で立つという意味の「自立」と、自分を律することで自分やみんなを高めるという意味の「自律」があることを知っていただきたいと思います。「自立から自律へ」のお話をさせていただきました。

本年もまた、どうかよろしく願いいたします。